

現代社会

(002東書・現社017・現代社会)

レポート提出回数 **7** 単位数 **2**

必要面接時数 **2**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	人間の尊重と科学的な探求の精神の基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。
目標に向けての具体的な取り組み	現代社会の基本的な問題と人間にかかわる課題を自己の問題・課題として考察することができるように、現代社会における具体的な課題を適宜取り上げながら実施する。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ(部・章)	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月	第1部 現代に生きる私たちの課題	・現代社会学習の意味について	・現代社会の学習について(はじめに) ①地球環境と私たちの未来 ②資源・エネルギー問題とわたしたちの生き方 ③科学技術の発達と生命 ④日常生活と宗教や芸術とのかかわり方 ⑤豊かな生活と福祉社会のあり方 ・課題の設定、調査、研究の方法	第1回	5/10	4/28	第1回 7/21	レポート
5月		・現代社会の諸問題について自己とのかかわりに着目して課題を設け、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点から追及する学習をする。						
6月	第2部 第1章 現代の社会生活と青年	・大衆化、少子高齢化、高度情報化、国際化など現代社会の特質と社会生活の変化について理解する。 ・生涯における青年期の意義と自己形成の課題について考えるとともに、自己実現と職業生活、社会参加に触れながら、現代社会における青年の生き方について自覚を深める。 ・今までの学習に対する取り組みや理解度の振り返りをする。	1 現代社会の特質とわたしたちの生活 2 現代社会と青年の生き方について自覚を深める。 3 よりよく生きることを求めて	第3回	7/26	7/21	教科書 p6~p79	面接授業
7月	第2章 現代の経済と国民福祉	・現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働き、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全について理解する。 ・個人と企業の経済活動における社会的責任について考える。 ・今までの学習に対する取り組みや理解度の振り返りをする。	1 経済のしくみ 2 政府の経済的役割					
8月	第3章 日本国憲法と民主政治	・世論形成と政治参加の意義について理解し、民主政治における個人と国家について考える。 ・生命の尊重、自由・権利と責任・義務、人間の尊厳と平等、法と規範などについて考え、民主社会において自ら生きる倫理について自覚を深める。	3 変化する日本経済 4 豊かな生活の実現	第5回	9/27	8/25	レポート No.3~5	テスト
9月	第4章 国際社会と人々の課題	・国際平和や国際協力の必要性及び国際組織の役割について認識するとともに、国際社会における日本の果たすべき役割及び日本人の生き方について考える。 ・今までの学習に対する取り組みや理解度の振り返りをする。	1 民主政治とは 2 日本国憲法と基本的人権 3 国会・内閣・裁判所					
10月	第4章 国際社会と人々の課題	・世界の主な国の政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題について理解する。	4 政治参加と民主政治	第7回	1/17	1/5	第3回 2/9	レポート
11月	第4章 国際社会と人々の課題	・世界の主な国の政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題について理解する。	1 国境をこえる経済 2 ボーダーレス化のなかの地域					
12月	第4章 国際社会と人々の課題	・世界の主な国の政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題について理解する。	3 国際社会の成立と戦後の動き 4 国際社会の課題	第7回	1/17	1/5	教科書 p145~ p195	面接授業
1月	第4章 国際社会と人々の課題	・世界の主な国の政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題について理解する。	3 国際社会の成立と戦後の動き 4 国際社会の課題					
2月	第4章 国際社会と人々の課題	・世界の主な国の政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題について理解する。	3 国際社会の成立と戦後の動き 4 国際社会の課題	第7回	1/17	1/5	教科書 p145~ p195	面接授業
3月	第4章 国際社会と人々の課題	・世界の主な国の政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛、資本主義経済と社会主義経済の変容、貿易の拡大と経済摩擦、南北問題について理解する。	3 国際社会の成立と戦後の動き 4 国際社会の課題					

※特別レポートは、評価に加えられますが、どうしても提出しなくてはならないものではありません。できるだけ取り組んでほしいと思います。

3. 評価の観点

評価の観点	観点の内容
関心・意欲・態度	現代社会と人間に関わる事柄について、意欲的に課題を追求する態度を身につけているか。
思考・判断	現代社会と人間に関わる事柄から課題を見つけ、広い視野に立って考察し、判断することができるか。
資料活用の技能・表現	資料情報を適切に収集活用し、考察した過程や結果を表現することができるか。
知識・理解	現代社会と人間の関わる基本的な事柄を理解し、知識を身につけているか。